

教材の趣旨

「情報モラル授業事例（熊子の憂鬱・中学校版）」について

この事例は、スマートフォンのアプリ「LINE」の使用によって生じた「ネットいじめ」を通して、インターネットを用いたコミュニケーションの限界や対面によるコミュニケーションの重要性を知り、望ましい人間関係作りに生かそうとする生徒を育むための特別活動（学級活動）の授業用に制作したものです。「出会い系サイト」のことが盛り込まれている高等学校版とは異なり、「LINE残し」による「ネットいじめ」のみがパワーポイント教材としてまとめられており、これを見た後で、生徒がさまざまな活動を通してコミュニケーション能力を高められるようになっていきます。

授業事例には、特別活動（学級活動）の授業で活用できるように、指導案とパワーポイント教材を掲載しました。

この事例が先生方の情報モラル授業の参考になれば幸いです。

青森県総合学校教育センター
情報モラルプロジェクト

【著作権についての注意】

- このサイトで提供する指導案とパワーポイント教材は、青森県内の学校教員向けに個人での利用、または教員等の研修・研究会等における利用を目的として制作したものです。
- この指導案とパワーポイント教材の著作権は、青森県総合学校教育センターにあります。
- この指導案とパワーポイント教材を、権利者に無断で複製、改変、公衆送信（インターネットなど）、頒布（販売など）、翻訳、翻案に使用することは法律で禁止されています。
- この指導案とパワーポイント教材の2次利用はできません。